



がんばって  
います!

# こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



## 美里ネイチャーズ(津市)

・会員数17人 サポーター数8人 ・クラブの構成 近所や地域の友達家族(7家族)で構成されています。  
・代表サポーターの三宅順也さんに聞きました。



### いつどのようにできたのですか?

平成19年5月頃、次のようなきっかけで活動を始めました。

- ①自分たちの住む津市美里町(旧美里村)の豊かな自然環境や伝統などの地域特有の「よさ」をいつまでも子どもたちに残していきたい。
- ②子ども達の現状、実体験などにおける、いわゆる経験不足や、地域のつながりの希薄さを問題点として「環境問題」「エコ」などを学習教材としてとりあげる。
- ③子どもたち自身が主体者であるという観点をもとに、自主性や責任感などを養わせたい。

### どのような活動をしていますか?

春・夏・冬休みなどを利用して活動しています。基本的に「大人は子離れ」し、「子どもは親離れ」する活動を重要視しています。文字通り大人(サポーター)はサポートする立場をなるべく貫くようにしています。昨年度は8月に「津ヨットハーバー」にて一泊二日で、ヨットの乗船体験や海岸清掃、カレー作りを行いました。5月頃から高学年のリーダー数名に「ヨットに乗せてくれるそうだよ」と言葉かけを行いました。次に「どうしたら乗れるのか?」「どうやってそこまで行くのか?」など大人から問いかかけをし、子どもたちでヨットハーバーや三交バスなどに電話をする経験を持たせました。事前に関係機関と打ち合わせをしました。活動の趣旨を理解し快く対応してただけて、有り難かったです。12月には「E-COのクリスマス会」と題して、地域の管理栄養士の協力を得て、親子エコッキングを行いました。ごみを出さず、季節や地域の食材を取り入れた料理法、そしてなによりも親子のふれあいを大切にされたクリスマスディナーを楽しむことができました。また、サポーターの出しものとして、クリスマスコンサートを行いました。環境にやさしく「電気を使わない音楽」ということで、アンプラグドでのバンド演奏が趣旨でした。

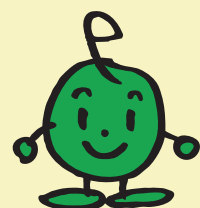
### どのようなことを伝えたいですか?

今後も子どもたちの様子を観察しながら、いわゆるTPO(時・場所・場合)に合わせ臨機応変に活動していきたいと考えています。親(サポーター)の立場からすると、企画して車に乗せて、お金を使って子どもたちになんらかのことを経験させるのは簡単なことです。我が「美里ネイチャーズ」はあくまでも子どもが主人公であり、親は字のごとく「木の上に立って見守る」立場を今後も続けて行きたいと考えています。しかし、これがなんと親として、サポーターとしてのある意味課題です。繰り返すようですが基本的に「大人は子離れ」し、「子どもは親離れ」する活動を重要視しています。それは現代においてはなかなか難しいことです。美里ネイチャーズ ホームページ <http://www.za.ztv.ne.jp/juju99/>



## こども エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。子ども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでもこどもエコクラブとして登録して活動を始めることができます。(入会費・登録費は無料です) ※詳しくは環境学習情報センターまで



こどもエコクラブイメージキャラクター  
エコまる